



平成 30 年 1 月 22 日



世界銀行の発展途上国における開発プロジェクト情報セミナー の開催について

1 目的

世界最大の国際開発金融機関である世界銀行と世界の環境首都を目指す北九州市は、昨年 3 月に、都市パートナーシッププログラムに関する覚書を締結しました。

世界銀行は、このプログラムなどで得た知識や経験を活用し、途上国の貧困撲滅や持続的な成長に向けた助言、技術協力、融資等を行っています。

また、本市は、このプログラムの一環として、途上国の急速な都市化の進展に伴う不法投棄と河川の氾濫といった課題解決のため、本市の経験やノウハウを体系化した「北九州モデル 廃棄物管理と洪水リスク管理」を作成しました。

今回、こうした取り組みを含めた世界銀行の各種事業に関する情報提供を通じ、海外展開など新たなビジネスチャンスにつなげることに意欲的な環境関連企業や国際関係機関等を対象に、標記セミナーを開催いたします。

2 主催 世界銀行、北九州市

3 協力 JICA 九州

4 日時 平成 30 年 2 月 6 日（火） 11:00～12:45

5 場所 JICA 九州国際センター 3 階 大集会室（北九州市八幡東区平野 2-2-1）

6 次第（講演等は日本語・英語の同時通訳有）

11:00～11:03 開会挨拶

※環境局環境国際戦略部長 作花 哲朗

11:03～11:10 趣旨説明（アジア低炭素化センター）

※環境局環境国際戦略課 特区プロジェクト担当課長 園 順一

11:15～11:50 講演「世界銀行の発展途上国における開発プロジェクト情報及び

『北九州モデル 廃棄物管理と洪水リスク管理』について

※ 世界銀行グループ東京開発ラーニングセンター（TDLC）

シニアオフィサー ダニエル・レヴィン

11:50～12:00 質疑応答

12:00～12:45 ネットワーキングランチ *立食形式、軽食を用意しています。

12:45

閉会

北九州市環境国際戦略課 宛 までお送りください

世界銀行の発展途上国における開発プロジェクト情報セミナー参加確認票

所属	(日本語)			
参加者 役職・ 氏名	役職	氏名	電話番号	メールアドレス
	(日本語)	(日本語)		
	(英語)	(ローマ字)		
申込先	北九州市環境局環境国際戦略課 担当 米田・金子 TEL 093-582-3804 FAX 093-582-2196 E-MAIL : kan-kokusai-staff06@mail2.city.kitakyushu.jp			

※ 上記申込書にご記入の上、2月1日（木）までにEメール等でご返信ください。

参考

1：世界銀行

世界銀行は、貧困削減と持続的成長の実現に向けて途上国政府に対し融資、技術協力、政策助言を提供する国際開発金融機関です。世界銀行グループは5つの機関で構成されており、その重要な意思決定は加盟国が行っています。

世界銀行グループ(本部所在地:米国ワシントンD.C.)は1945年に設立され、1万人以上の職員が世界120か国以上で業務にあたっています。

2：北九州モデル

(1)概要

- 北九州モデルは、北九州市の経験をもとに、都市開発及び都市運営のノウハウ(技術や知識)を体系的に整理したもので、途上国における都市の基本計画や管理計画を策定するためのマニュアルです。
- 計画策定の手順書(テキスト)、計画策定に役立つツールキット(チェックリスト等)、豊富な実例を紹介するケーススタディ(エコタウン事業の展開など)で構成されています。
- 「廃棄物管理」、「エネルギー管理」、「上下水管理」、「環境保全」、「交通」の5分野に加えて、街づくり全体構想とのバランスをとり、相乗効果を生み出すための方法を提示しています。
- 今回、世界銀行と共同して、6番目の分野として「廃棄物管理と洪水リスク管理」を作成しました。この結果、途上国における都市の基本計画で対処できる課題の幅が広がりました。

(2)北九州モデルの活用と効果

- 「北九州モデル」を使って、相手都市と一緒に、各都市の現状とニーズに適応した計画を策定できる。
- 北九州市の先進的な事例をショールームとして活用できる。
- 「北九州モデル」を活用し、途上国都市のマスタープラン策定の段階から参画することで、様々なビジネスチャンスが生まれ、グリーンシティ(環境配慮型都市)の輸出の推進を図る。

(3)北九州モデルの活用事例

- 2015年5月に、姉妹都市であるベトナム・ハイフォン市と共同で、同市が持続可能なグリーン・ポート・シティとして発展するために2050年を見通した計画「ハイフォン市グリーン成長推進計画」を策定しました。
- 現在、姉妹都市のカンボジア・プノンペン都と共に環境問題の改善・解決を目指すための「プノンペン都気候変動戦略行動計画」の策定を進めています。

3：都市パートナーシッププログラム(CPP)

CPPとは、世界銀行が選定した日本の都市とともに、開発途上国が直面する開発課題に対し、日本の都市と途上国都市との連携を支援・促進し、解決策を提供することを目的としており、北九州市は平成28年7月に、横浜市、神戸市、富山市とともに選定されました。北九州市は、「グリーン成長」と「廃棄物管理」のテーマで活動しています。